

日高運輸（株）新年安全祈願祭 平成29年1月4日



今年も山名八幡宮神職高井俊一郎さんに来て頂き、交通安全祈願祭を無事終了しました。元旦より弊社始動して今日では半分以上が運行してここには居ませんが、今日していただくとやはり心身共落ちつき詰められました。今年も安全運転で頑張ります！！

日高運輸（株）新年会



毎年恒例のニューサンピアでの新年会を1月7日、14日の2回に分け行ないました。新年に迎え、新たに安全運転を誓い、お客様に喜んでいただける物流を目指し、今年も頑張れるよう乾杯をしました。今年はジャンケン大会を行い、優勝は近江牛肉 10,000 円、準優勝はお米券 5,000 円、三等賞はフリスクのマスクと大盛り上がりでした。ニューサンピアは弊社から近くてギリギリ終了のスタッフも参加出来て、お泊まりも出来るので飲酒運転防止に役立ちます。

【新入社員紹介】

堀越 正明さん【平成28年9月入社】



～自己紹介～

趣味は特にはないですが、仕事は真面目にコツコツとが心情です。どうぞよろしくお願いいたします。

～社長より～

元美容師の堀越君は接客が上手いので、お話をしても感じがとても良い！！この良さを活かしてお客様から好かれるように頑張ってください。

綿貫 賢康さん【平成28年12月入社】



～自己紹介～

昨年12月よりお世話になっております。前職は医薬品、化粧品、日用品の卸で営業をしていました。お客様第一で安全運転に努め、日高品質をより高めて参りますので、よろしくお願い致します。

～社長より～

綿貫さんは入社以来、誰よりも急成長し、いろんな仕事を体験しています。今はまだ慣れないで大変な時期ですが、期待していますよ！！

～社長より～

面接の履歴書を見て、文字の上手さで、即入社決定しました。もくもくと一生懸命働く姿が、日高運輸は事務スタッフの宮原さん、白石さんで成り立っていると言っても過言ではありません。

～自己紹介～

毎日2人の子供達に振り回されながら日々頑張っております。運送会社の事務の仕事は初めてで、一から皆さんに教えて頂いております。少しでも早く逆に皆さんのお役に立てればと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

白石 礼子さん【平成28年9月入社】



Jump Hidaka.co.

日高運輸株式会社

住所：高崎市日高町 1049
TEL：027-362-1887
Mail：hidakaunyu.co.jp@aw.wakwak.com
HP：http://hidakaunyu.com

2017年2月
No.185

飲酒運転防止対策 ～お酒を減らすコツ～

飲酒運転事故は、後を絶ちません。この種の事故の多くは、死亡、重傷といった重大な結果を招いており、依然として大きな社会問題となっています。当社は、飲酒運転根絶の宣誓、運転経歴証明書の活用やアルコール検知器の導入などの対策を進めています。そこで、県トラック協会提供資料「セルフチェックシリーズ①」より、「お酒を減らすコツ」を抜粋したので提示します。参考にして下さい。

- 記
- ① 自分のペースでゆっくりと。
無理せず次の一口までの時間を長くする。
 - ② 遅くても10時までに切り上げる。
目標時間を定めておく。
 - ③ 休肝日は週に2日。
肝臓を酷使しないために、週に2日は「休肝日」を設ける。
 - ④ 自分の適量の範囲内にとどめる。
 - ⑤ 食べながらゆっくりと飲む。
空腹状態では酔いの回りが早い。食べながらゆっくりと飲む。
 - ⑥ 酒で喉の渇きをいやさない。
喉の渇きは、ビールでなく、冷たいお茶でもいやすことができる。



一口メモ

早いもので1月は過ぎました。昨年の夏は毎年の「酷暑」。今年の冬は「厳寒」という異常気象となっています。特に、北国では、例をみない豪雪で幹線道路で交通大渋滞という被害が起きています。関東地方では乾きの毎日ですが、インフルエンザの大流行や花粉の大量飛散が予測されています。安全にして信頼されるトラック輸送の実現のためには、何と言ってもドライバーの皆さんが「健康（心、身）」であるということです。そのために、インフルエンザ、花粉症などに十分注意して下さい。

トラック運転者◆超高齢化へ◆

世界に先駆けて超高齢化社会を迎えた日本は、社会保障費の膨張が続き、将来に暗い影を落としている。こうした中、高齢者の定義を現在の「65 歳以上」から「75 歳以上」に引き上げ、現役世代の範囲を 74 歳まで延長すべきとの声が高まりつつある。若年層の就業が停滞し、深刻な労働力不足が懸念されるトラック業界でも、高齢ドライバーの活用が事業の存続・発展の力を握るが、高齢者の危険運転による悲惨な事故も社会問題化している。ドライバーの超高齢化を想定し、業界を挙げた対策に取り組む必要がある。

未来考

日本老年学会（大島伸一会長）と日本老年医学会（桑木宏実理事長）は 5 日、高齢者の定義を 10 歳引き上げ、75 歳以上を高齢者とすべき——と国へ提言した。

現在の高齢者について「10 ～ 20 年前と比較して 5 ～ 10 歳若返っている状態」とした上で、特に前期高齢者とされる 65 ～ 74 歳は「心身の健康が保たれ、活発な社会活動の可能な人が大多数を占める」と指摘。また、各種の意識調査でも、65 歳以上を高齢者とすることに否定的な意見が見られることを踏まえ、報告書では 75 ～ 89 歳を「高齢者」、90 歳以上を「超高齢者」と呼ぶのが妥当——としている。

内閣府が 2016 年度に実施した調査（高齢者の日常生活に関する意識調査）でも「70 歳以上あるいは 75 歳以上が高齢者」と考える意見が多い。「現役世代」の範囲が広がり、年金や医療費を負担する側が増えれば、膨らみ続ける社会保障費を削減する効果が期待できる。政府が定義の見直しに動く可能性は低くないとみられる。

ただ、企業に雇用を目を向けると、定年後の再雇用を含めて就業希望者の雇用を義務付けられているのは 65 歳までで、定年を 66 歳以上に設定している企業はごくわずか。こうした実状を踏まえると、経済界は一律的な現役世代の拡大には慎重姿勢だ。

他方で、人口減少と超高齢化が同時進行する中、現役世代がやせ細り、多くの業界が労働力不足に頭を悩ませている。トラック業界はその最たる業界の一つであり、総務省の労働力調査によると、道路貨物運送業で「10・20 歳代」の占める割合が 05 年の 44.0%から 15 年には 29.1%と激減し、逆に「60 歳代」は 9.6%から 15.1%に増えている。

こうした状況から国土交通省はトラック産業の活性化方策として若年労働者雇用拡大を促す一方、高齢者の活用も打ち出している。「30 年以上前から高齢者の再雇用制度がある」（浦野征一郎 三和運輸専務、45 富山）。運輸行政が旗を振らずとも、物流の現場では以前から高齢ドライバーの活用に積極的に取り組んできた。警察庁が発表している運転免許統計（15 年版）によると、「65 ～ 69 歳」の運転免許保有者（男性）は「40 ～ 44 歳」に次いで多く、65 歳超のトラックドライバーが当たり前になる可能性は低くない。

参考：物流ニッポンより

65
～
74
歳「現役世代」老年学会

最新物流指標 トラック輸送情報

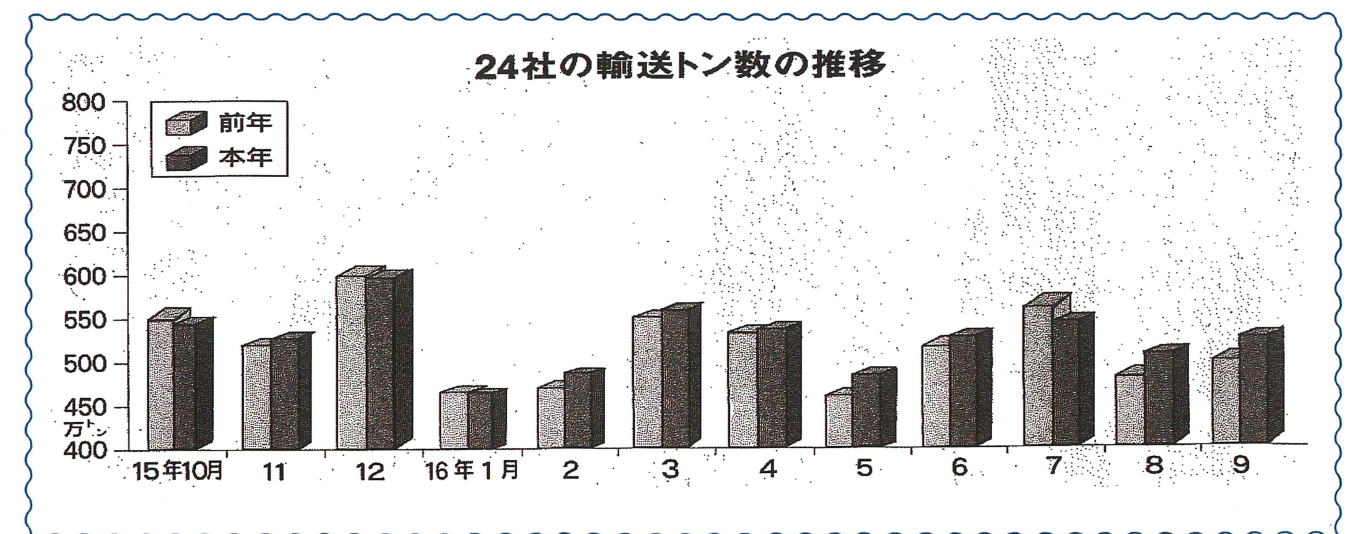
一般貨物（貸切運送事業）804 社

一般貨物（804 社）の輸送量は、前年同月比 100.3%となった。北海道、東北、関東、中国を除いた、各地域で実績を下回り、全国平均では前年を上回った。

地方運輸局別											
	全 国	北海道	東 北	関 東	北信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比(%)	100.3	102.5	102.7	103.5	96.4	99.7	98.1	101.4	99.0	97.8	90.4
前 月 比(%)	107.2	116.9	108.1	108.7	100.8	106.3	104.7	105.6	101.0	100.9	99.9

- 【関東】 前年同月比 103.5%、前年比 108.7%となった。今後の見通しは、次月は増加傾向、以降はほぼ横ばいと予想される。
- 【北信越】 前年同月比 96.4%、前月比 100.8%となった。品目別では、季節的需要増により「穀物」が、建設関連の需要増により「鉄鋼」が、また、「機械」「その他の窯業品」「化学薬品」及び「紙・パルプ」の輸送量が増加。一方、季節的需要減により「食料工業品」輸送量が減少した。今後の見通しは、次月及び以降とも減少傾向にある。
- 【中部】 前年同月比 99.7%、前月比 106.3%となった。品目別では、「その他の窯業品」の輸送量が増加した。今後の見通しは、次月及び以降ともほぼ横ばいと予想される。
- 【近畿】 前年同月比 98.1%、前月比 104.7%となった。品目別では、「その他の化学工業品」「紙・パルプ」の輸送量が増加。一方、「食料工業品」の輸送量が減少した。今後の見通しは、次月及び以降とも減少傾向にある。

特別積合せ貨物（ヤマト・佐川など 4 社）



参考：国土交通省総合政策局情報政策課より